

地方移住の現代的意義

～移住相談から見る田園回帰～

NPOふるさと回帰支援センター

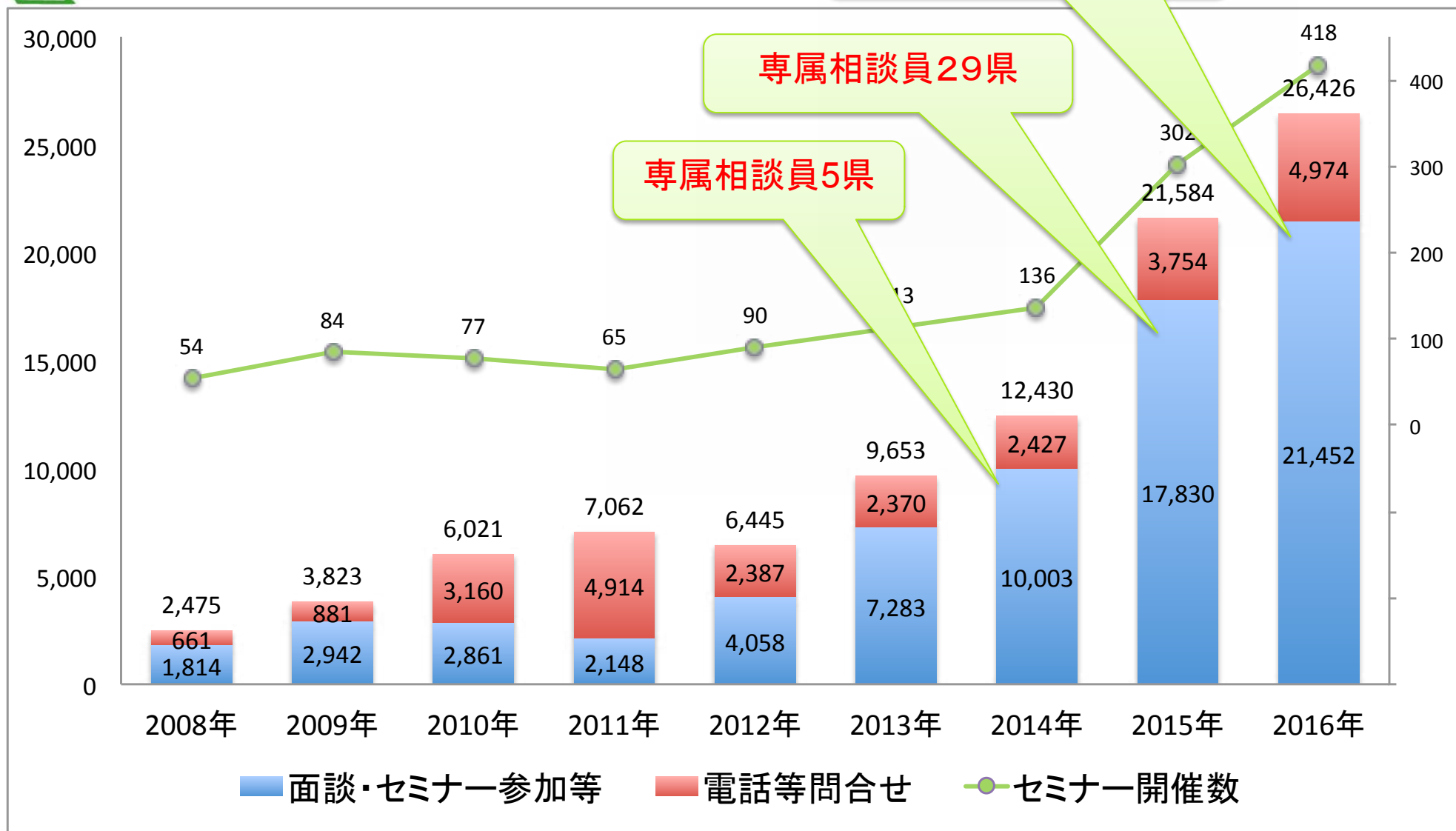
副事務局長 嵩 和雄
かさみ かずお



専属相談員38道府県

専属相談員29県

専属相談員5県

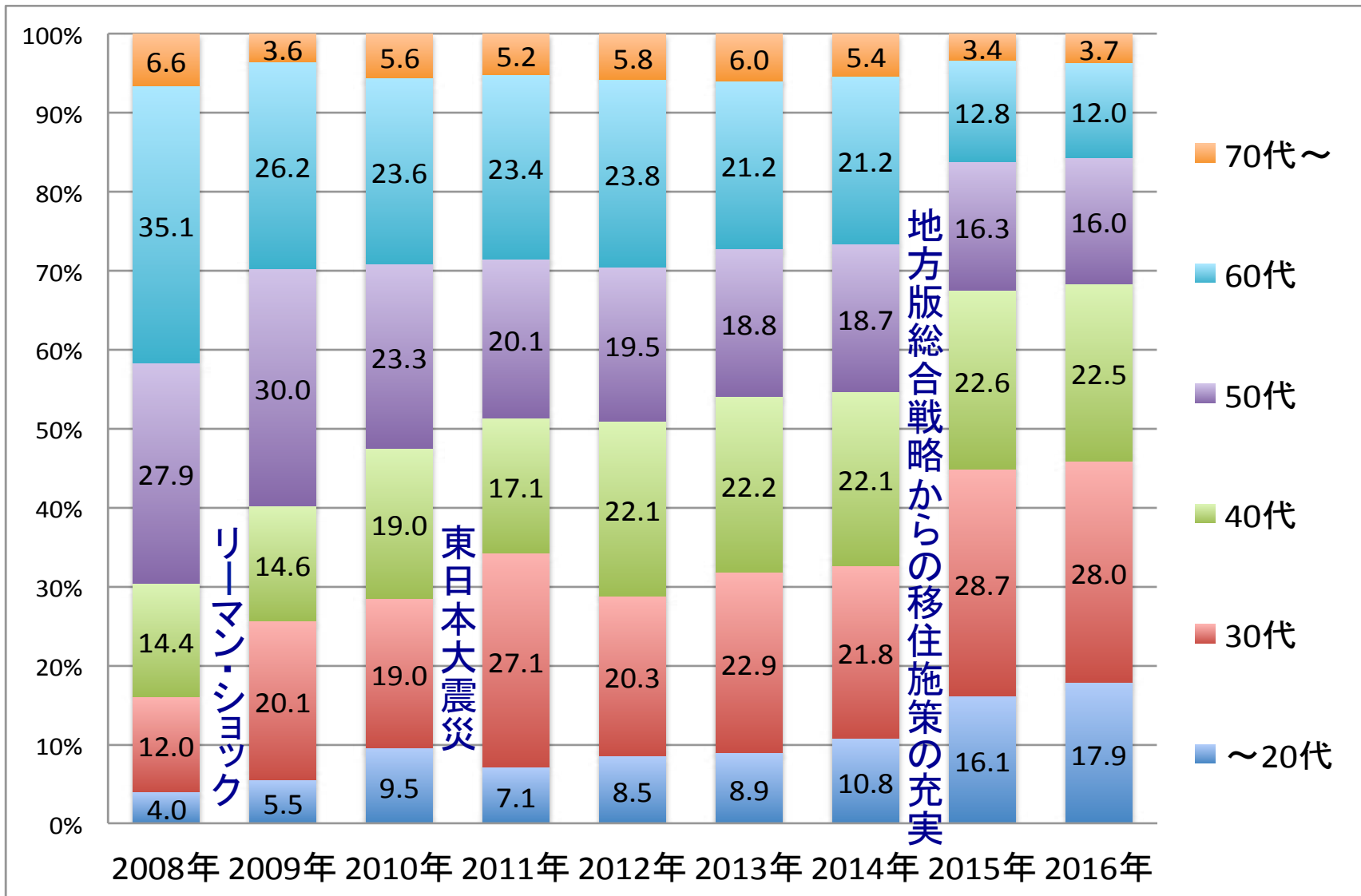


【暦年】 来訪者・問い合わせ数の推移（東京：2008～2016年）



地方移住をめぐる状況の変化

(暦年別) センター利用者の年代の推移(東京)2008-2016





3.11以降のキーワード「安全・安心」

ファミリー層の相談の増加（疎開的移住）

● 子育て環境を重視

- 山梨県早川町：義務教育経費無償化
- 鳥取県：「子育て王国」
 - 智頭町：「森の幼稚園」

● 安全な環境

- 地震・津波の不安・原発の不安
 - 瀬戸内エリアの相談が増加



岡山市、倉敷市、高松市などの地方都市が人気



こんな本までコンビニで発売



「移住」と「引越し」の違いは？

- **引越し**：「**住む場所**」を変えること
 - 住む場所以外は何も変わらない
- **移住**：「**生活スタイル**」を変えること
 - 生き方そのものを変える

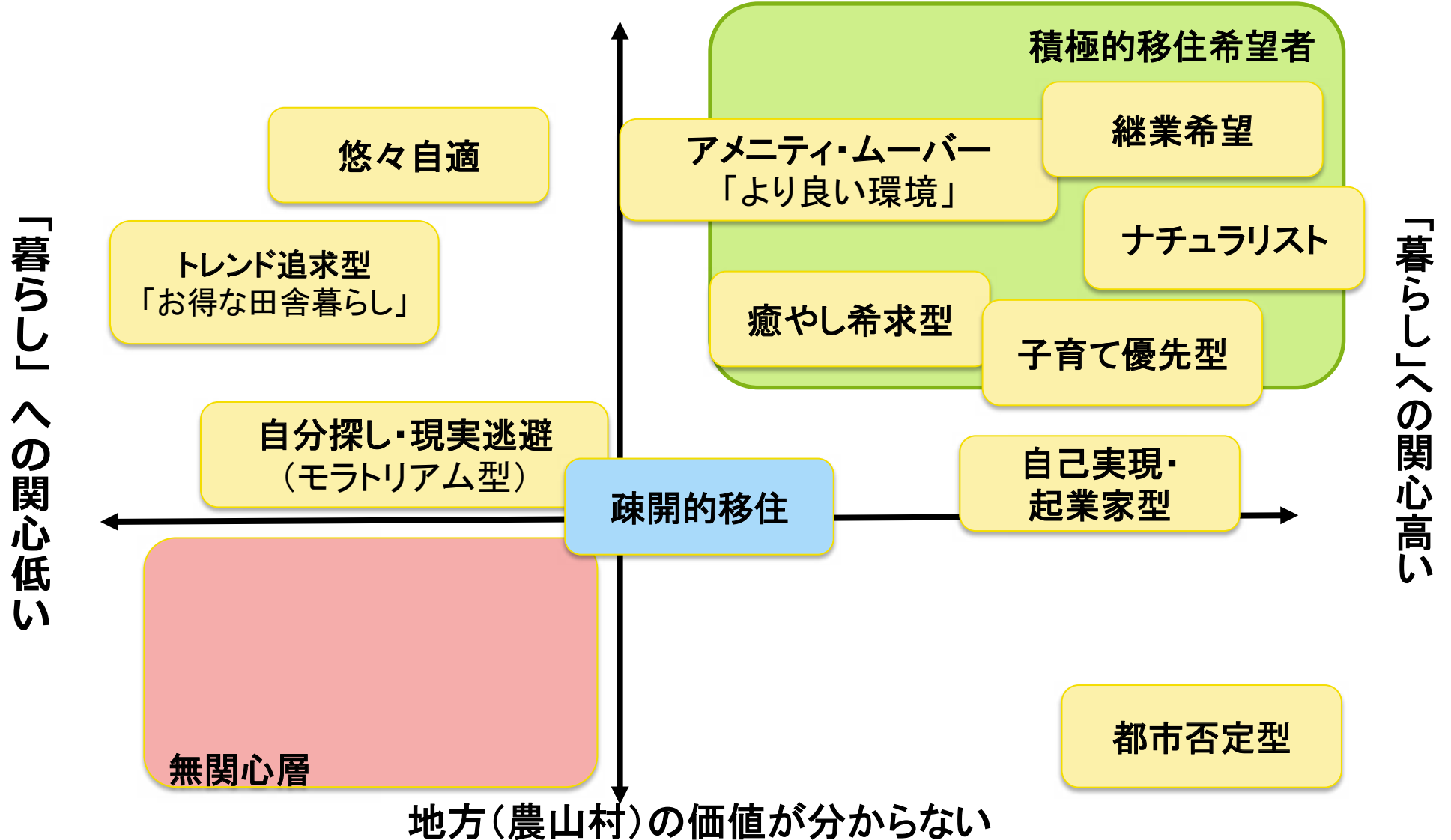


『仕事や家族の事情ではなく「ライフスタイルを変える」ための目的を持ったの転居』



【地方移住を望む都市住民の類型（私案）】

地方（農山村）の価値がわかる



地方（農山村）の価値が分らない

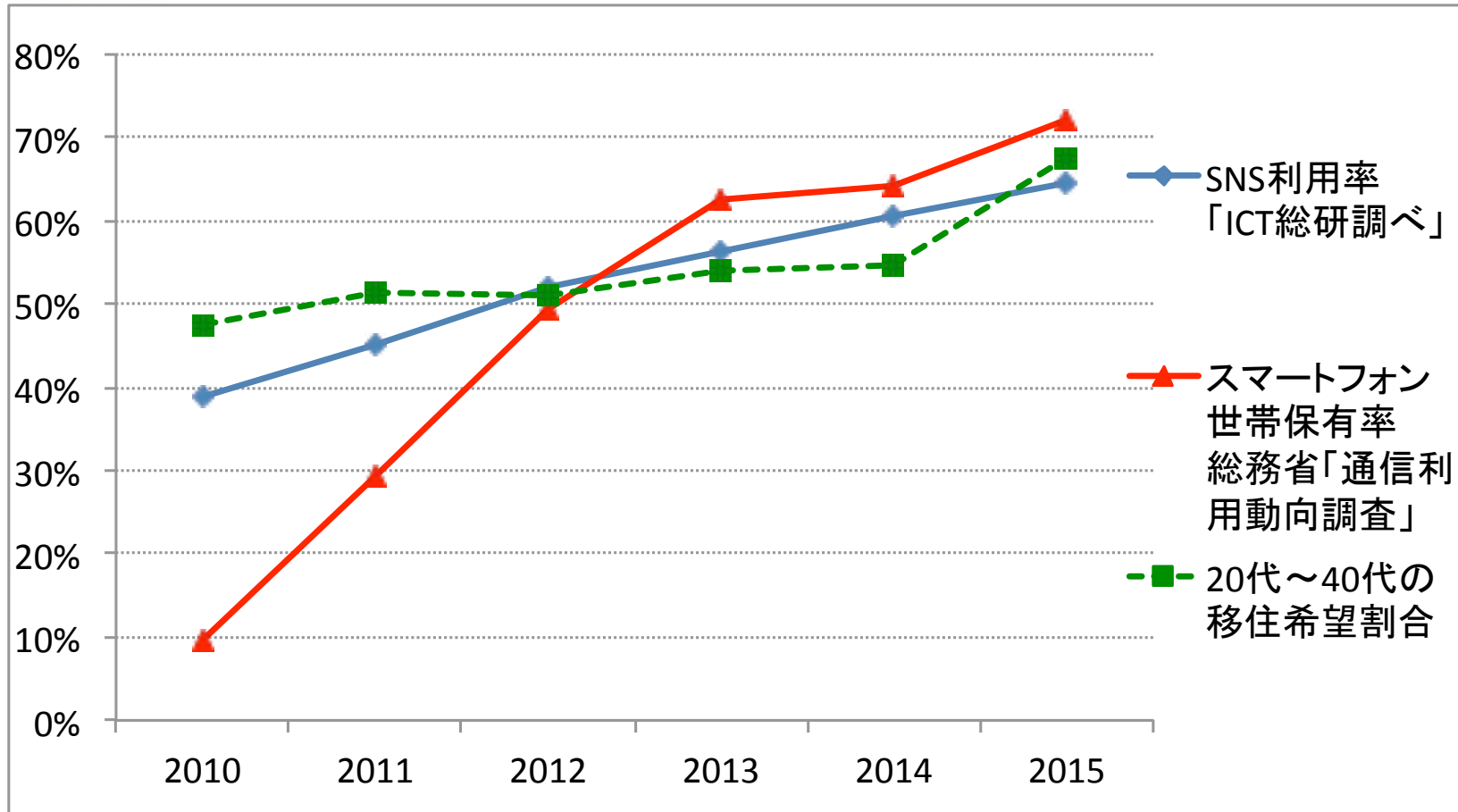


フラット化する「都市－農村関係」

「いいね」



が気軽に・・・SNSの普及と若者の動き



SNS利用率・スマートフォン世帯保有率推移と若年層の移住希望割合推移



「共感」と「ゆるいつながらり」

- 「都会にはない（と思われている）」ローカルの「つながり」
- 価値観の多様化と「知らない世界」へのあこがれ
 - 地方にこそ「可能性」が・・・**フロンティアとしての農山村**





若い移住者たちのキーワードから読み解く ・・・「共感」と「ゆるいつながらり」

- **ソーシャル**
 - やり甲斐、関係性
- **ローカル**
 - 拠点づくり、地域性
- **シェア**
 - 脱消費、共有性
- **リノベーション**
 - 再利用、創造性

農山村型社会起業家



東日本大震災以降の価値観の変容



【移住後のビジネスイメージの変化】

これまでは・・・本格志向

- そば屋（手打ち）
- パン屋（天然酵母）
- 陶芸家（自己流）
- ペンション（自慢の料理）



最近は・・・ゆるい感じ

- カフェ（自然派）
- パン屋（かわいい系）
- ものづくり（クラフト系）
- ゲストハウス（DIY型）

& 上記をミックス





「共感」が生み出す“ミーム”・・・『食べる通信』





「共感」が生み出す“チーム”・・・『移住計画』



鹿児島移住計画
Kagoshima Migration Project





専門誌から一般誌へ・・・近年は若者向けに

2012～

若者



専門

一般

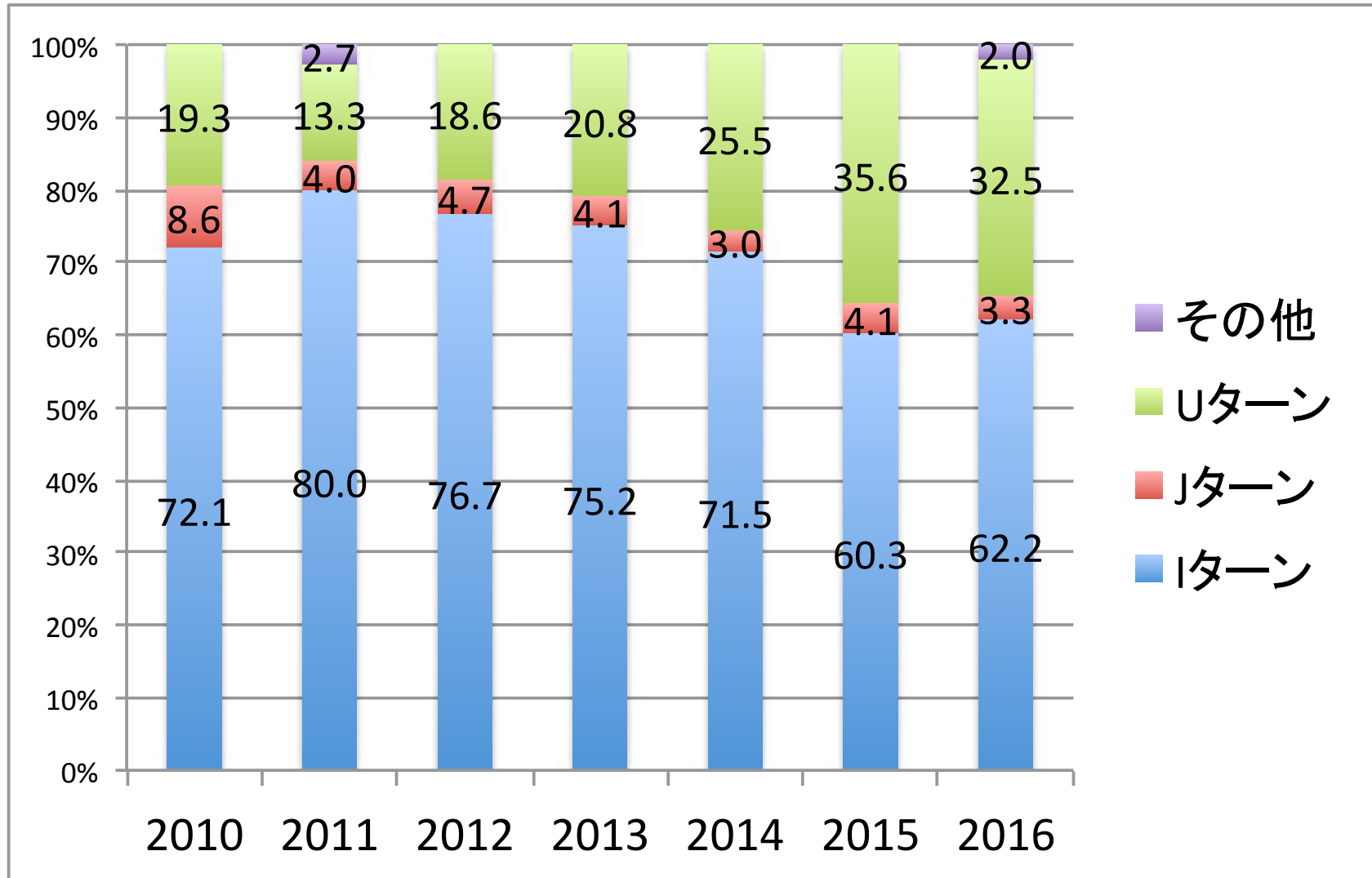
1987～



中高年



増えつつあるUターン希望者

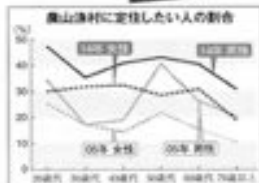


UJIターン割合の推移 (2010~2016)



「孫ターン」の可能性 一世代飛ばしての移住

(都会の両親を残して20~40代の孫が地方に移住)



人口減
家族の形②

一軒家から分も歩けば日本海。東京が海に流れ、彼の国だけが閉じこもる。西本郷人さん(81)は、相模親子(8)が暮らし鳥取県大山町に移住し、農漁りでアワビやササエを取って、東京の女子高生が東北で祖母と生活し、彼女が就職するテレビドラマに似ている。

西本さんは妻光子さん(88)と東京、秋葉原に住み、スポーツクラブのインストラクターをしていた。2011年3月の東日本大震災で多くのスーパーから食料品がなくなるのを見て、「自然回復の生活がしたいで、生まれればかりの長女愛紗ちゃんを抱き、光子さんと鳥取に引っ越した。

「最初は閉居があったの。最初は閉居して大変だった」と苦笑する。そばでは、ももになった道徳ちゃんが光子さんの腕に抱かれ、おしゃべりしている。

祖父母の元に孫移住



互いに探る「ほどよい距離」

人の知人の漁師中村(好喜)さん(80)が「新しく(愛知)トウ(東京・何楽町)の郷和建築事務所局長は「移住先を任せてお宿を続けると、熱は下がりに、休みにあきらめて、出動できた。」「移住先は仕事を機に仕事と子育てを両立させるため、昨年7月に東京都北区から同市へ転居した。実家も同市に移住した。週末おかすを兼ねて、週末も一緒に過ごしている。

今年6月には、次女(22)と孫(3)を連れ、東京11月には、養育費の負担を軽減するため、移住先を鳥取県に移す。人口減に悩む地方では、親が親父母の元に移住する「孫ターン」のような移住者は増えている。遠征に苦痛を覚える人は少ない。遠征に苦痛を覚える人は少ない。

世帯主と親との距離

世帯	同居	近居	遠居
2001年	19.6	22.9	57.5%
2011年	10.7	29.8	59.5%

①国立社会保険・人口問題研究所の人口移動調査から

「とにかく体を冷やして、アトピーを治すため、愛紗ちゃんの熱は下がりに、休みにあきらめて、出動できた。」「移住先は仕事を機に仕事と子育てを両立させるため、昨年7月に東京都北区から同市へ転居した。実家も同市に移住した。週末おかすを兼ねて、週末も一緒に過ごしている。

孫ターン

ムラをめざす若者たち①

芽生える新たな価値観

「ターン」でも「ターン」でもない。新しい世代への価値観が芽生えた。孫の世代は「孫ターン」だ。孫は、親世代とは違う。孫は、親世代とは違う。孫は、親世代とは違う。

「移住先は仕事を機に仕事と子育てを両立させるため、昨年7月に東京都北区から同市へ転居した。実家も同市に移住した。週末おかすを兼ねて、週末も一緒に過ごしている。



若者を招いたサテライトオフィスで同僚と打ち合わせる西村さん。孫ターンした実業家(左)と孫(右)。

「移住先は仕事を機に仕事と子育てを両立させるため、昨年7月に東京都北区から同市へ転居した。実家も同市に移住した。週末おかすを兼ねて、週末も一緒に過ごしている。

楽しい記憶 移住促す

大塚の移住は、孫の世代が「移住先は仕事を機に仕事と子育てを両立させるため、昨年7月に東京都北区から同市へ転居した。実家も同市に移住した。週末おかすを兼ねて、週末も一緒に過ごしている。

「移住先は仕事を機に仕事と子育てを両立させるため、昨年7月に東京都北区から同市へ転居した。実家も同市に移住した。週末おかすを兼ねて、週末も一緒に過ごしている。

「移住先は仕事を機に仕事と子育てを両立させるため、昨年7月に東京都北区から同市へ転居した。実家も同市に移住した。週末おかすを兼ねて、週末も一緒に過ごしている。」



移住・定住を阻害する3つの課題

● 仕事の問題

仕事が少ない・・・希望職種とのミスマッチ
収入が減る・・・都市部との収入の格差

● 住居の問題

借家が少ない・・・空き家物件があまりない

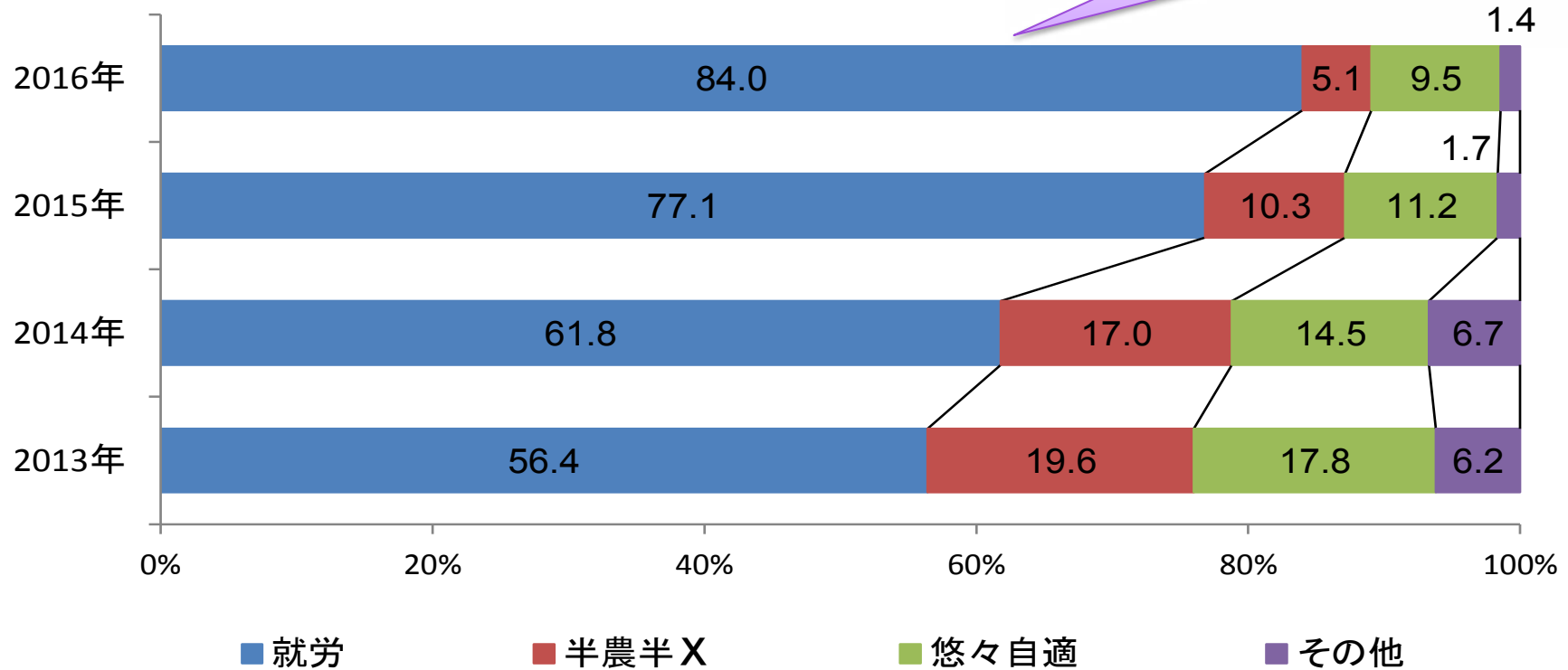
● 受け入れ体制（コミュニティ）の問題

地域住民の意識・・・ヨソモノへの不安
行政任せきり・・・自分ごとではない



移住後のライフスタイルのイメージ

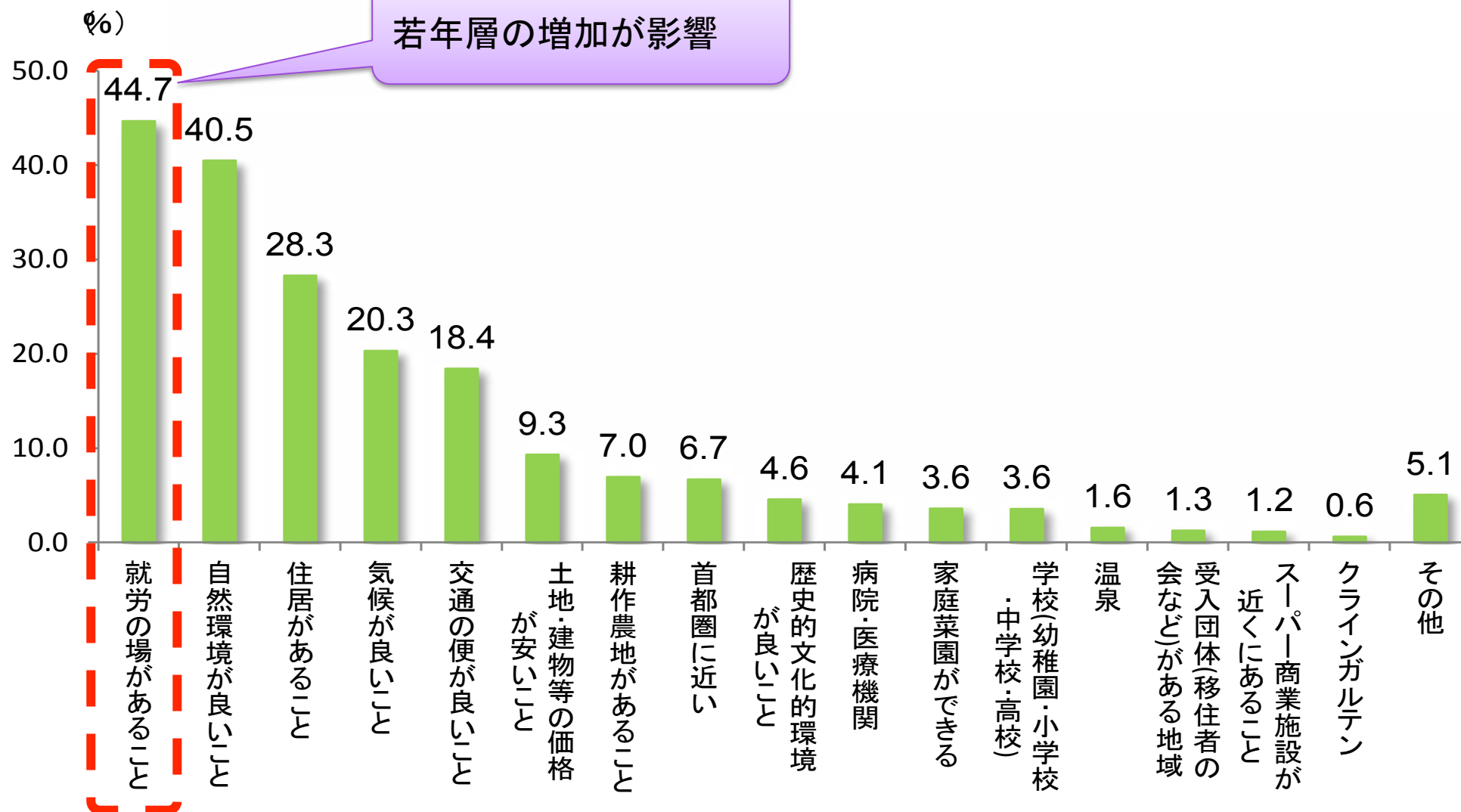
若年層の増加が影響





移住地選択の条件（2016）

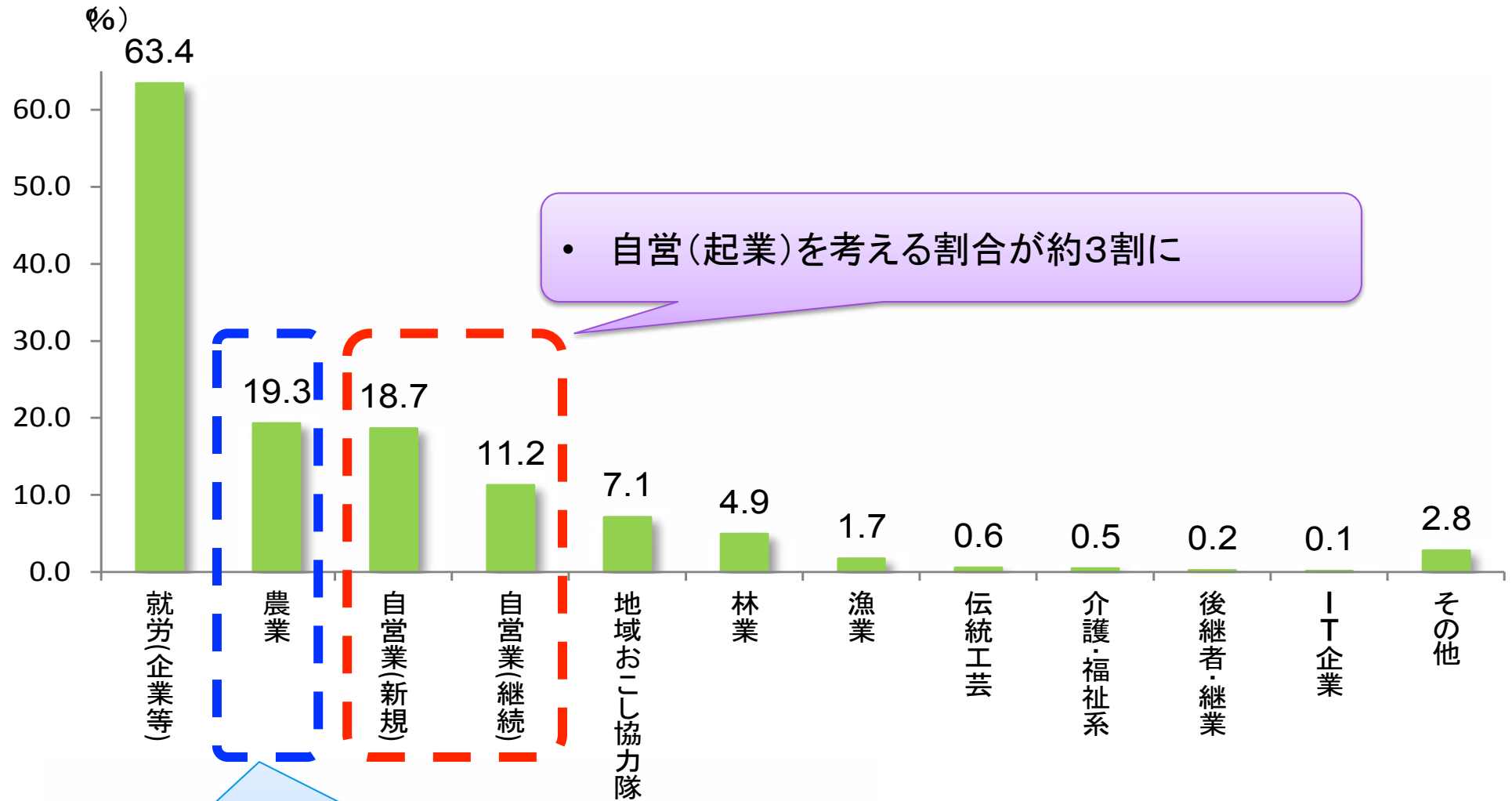
統計を取りはじめてから初めて「就労の場があること」がトップに



若年層の増加が影響



希望する就労形態（2016）※複数回答



• 自営(起業)を考える割合が約3割に

- 生業としての「農業」のイメージが薄い
- 必要面積が30坪、100坪などという回答



移住者の求める「働き方」

- 地方ならではの「やりがい」を求めて（ローカルワーク in 北海道）

ローカルワーク in HOKKAIDO

ローカルワーク in HOKKAIDO とは？ カテゴリから探す エリアから探す

北海道の地方の可能性に目を向け、「やりがい」に注目した仕事情報をご紹介します。

ローカルワーク in HOKKAIDO

現在掲載中の仕事情報：615件

エリアから探す

宗谷・稚内エリア 宗谷管内 9市町村

留萌エリア 留萌管内 8市町村

岩見沢・滝川エリア 空知管内 24市町

札幌エリア 石狩管内 6市町村

小樽・ニセコエリア 後志管内 20市町村

江差エリア 檜山管内 7市町

函館エリア 道庁管内 11市町

上川管内 23市町村

オホーツク管内 18市町村

紋別管内 5市町

網走管内 8市町村

十勝管内 19市町村

日高管内 7市町

根室管内 11市町

旭川・富良野エリア

オホーツクエリア

根室エリア

釧路エリア

十勝・帯広エリア

日高エリア

室蘭・苫小牧エリア

TOP

カテゴリから探す

農林水産業、及びその高付加価値化に貢献する仕事

環境・エネルギー問題にチャレンジする仕事

自然資源の保全・活用に関わる仕事

地域の医療・福祉のニーズに応える仕事

デザインの力で地方の魅力発信を支える仕事

ITを活用し地域課題の解決に貢献する仕事

工業や製造業など独自の技術を活かしたもののづくりの仕事

地域資源を活かした観光交流に関わる仕事

その他

PICK UP!

地域資源を活かした観光交流に関わる仕事

旭川・富良野エリア
マチを発展させるための新しい観光に挑む！【NPO法人 しもかわ観光協会/下川町】
詳しい情報を見る

農林水産業、及びその高付加価値化に貢献する仕事

秋田エリア
広い大地で安心安全な野菜を一緒につくりませんか【株式会社 上原農場/中根津町】
詳しい情報を見る

工業や製造業など独自の技術を活かしたもののづくりの仕事

岩見沢・滝川エリア
お菓子作りは笑顔づくり。夢のある仕事です【株式会社 ホリ/砂川市】
詳しい情報を見る

地域の医療・福祉のニーズに応える仕事

室蘭・苫小牧エリア
「人」と「新」をつくる福祉施設【一般社団法人 伊達の風/伊達市】
一般社団法人 伊達の風
詳しい情報を見る

農林水産業、及びその高付加価値化に貢献する仕事

地域資源を活かした観光交流に関わる仕事

農林水産業、及びその高付加価値化に貢献する仕事

農林水産業、及びその高付加価値化に貢献する仕事

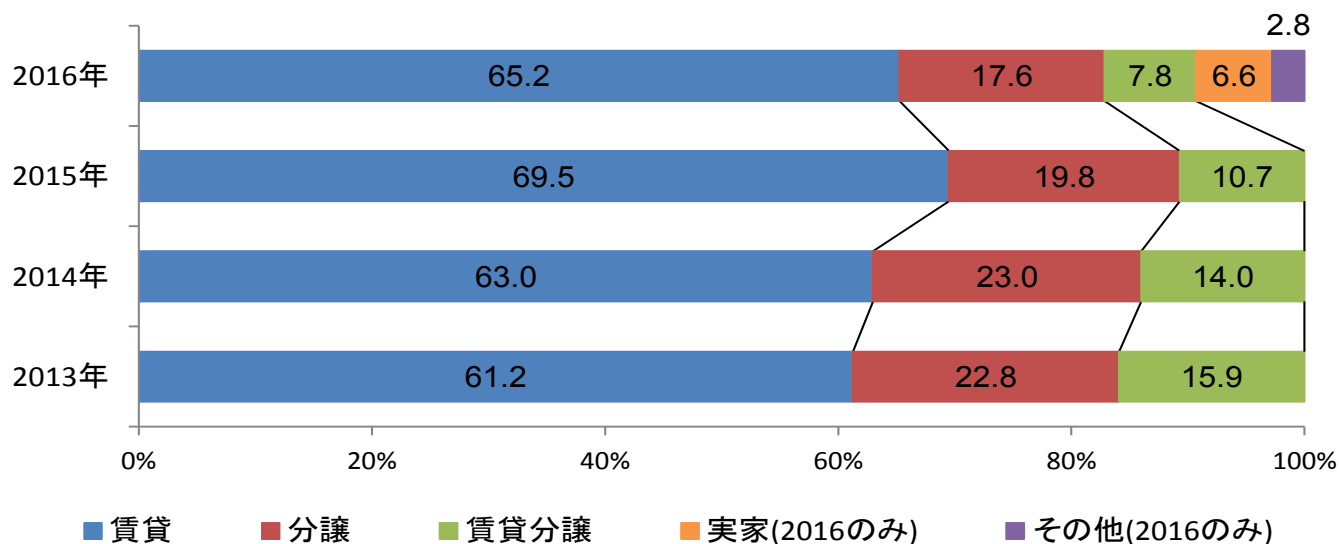
TOP



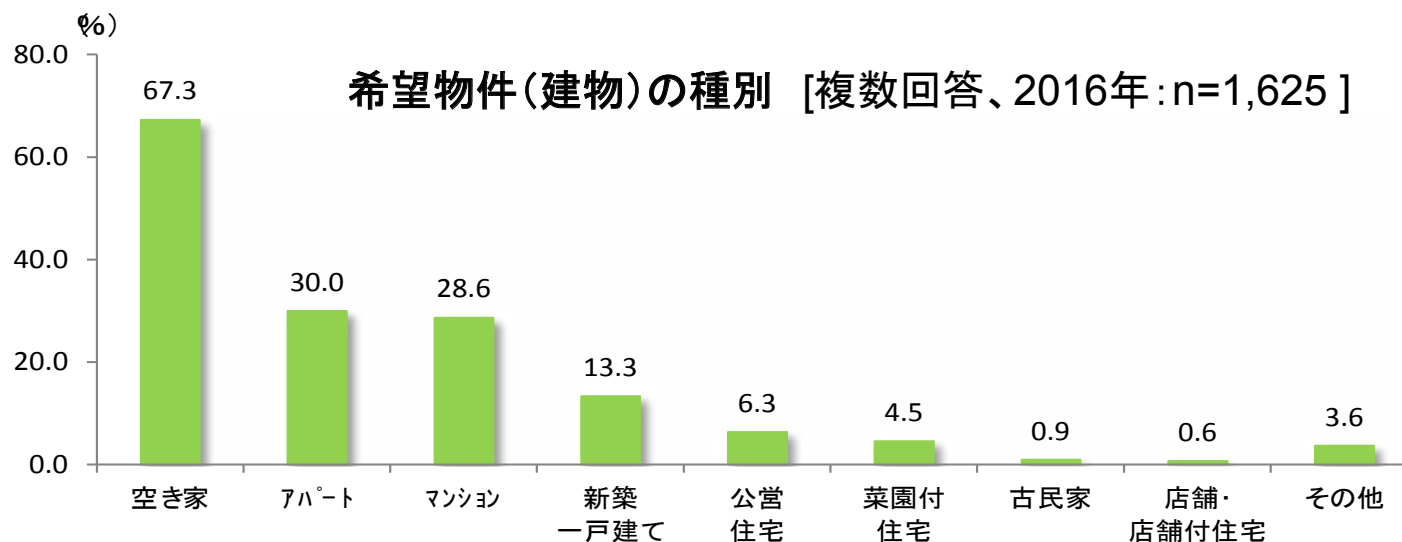
移住者のニーズは賃貸の戸建て空き家

物件(建物)の契約形態 [単一回答、2016年:n=2,057]

ふるさと回帰支援センター
来場者アンケート2016より



希望物件(建物)の種別 [複数回答、2016年:n=1,625]





地方の空き家の課題

移住者にとって空き家のニーズは高いが・・・

- 知らない人に空き家を提供することを不安に思う所有者も多い。
- 親族の反対、近所からの否定的な目
- リフォーム等にお金がかかるのでは？
- 貸したら返してもらえないのでは？
- 農山村の空き家住宅は、宅地建物取引に関して手間の割に家賃額が低く、「事業」として成立しにくい。



自治体による「空き家バンク」

移住希望者にとっての「空き家バンク」の魅力とは

- 行政が間に入っている安心感
- 「市場に出にくい」「安い不動産」を「仲介手数料を払わず」に購入・賃借が可能



行政による空き家の借り上げ

例) 高知県梼原町

- 空き家を家主から10年契約で梼原町が無償で借り受け、リフォームして移住者らに貸し出す事業。
- 2013年度に着手し、これまでに30棟を改修。(全て成約済)



前年同期比で人口減少は1名
(これまでは年50~90人のマイナス)



ゆすはらの家
HOUSE

ゆすはら町の住居紹介

貸します 買ります 売 借泊体験

梼原町移住定住促進住宅 (広野3) **貸 - 現在入居中です**

所在地	高知県高岡郡梼原町広野
借 賃	賃料/15,000円
面 積	40.16㎡
間取り	DK、和室4室、水洗トイレ、浴室
駐車場	有 (1台)
その他	自前を始末水回りを含めてリフォーム済み。

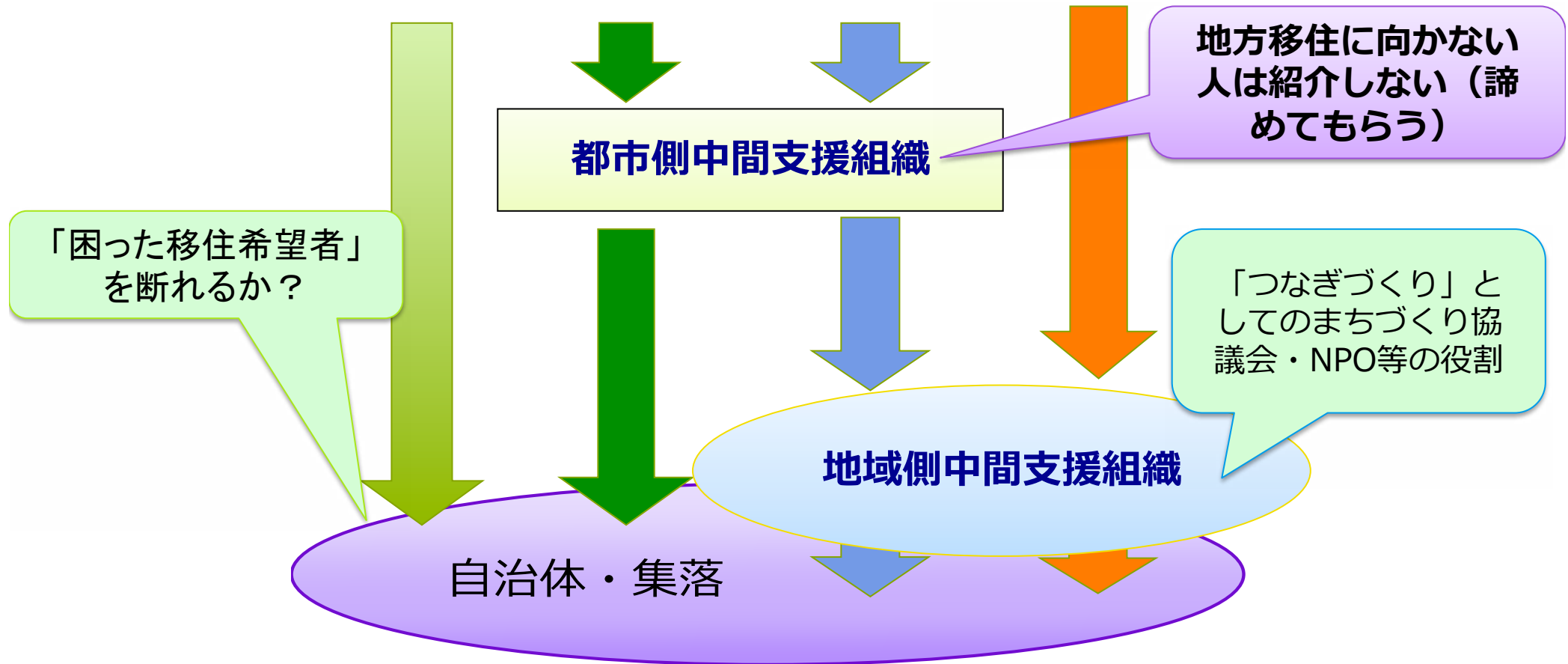
お問い合わせ先
梼原町企画財政課 企画・定住対策係
〒785-0695 高知県高岡郡梼原町横原1444-1
電話 0889-65-1111 fax 0889-40-2900



移住者呼び込みのステップ



ステップ1 ステップ2 ステップ3 ステップ4





多様化する移住者受け入れ主体

活動のおせっかいご案内

1. 移住者バンク
移住者バンクを拠点の一環として、移住したい方からアポイントメントの申し込みや、移住希望者への移住支援など、迅速に対応して対応いたします。

2. ホームページ
ウェブサイトや移住者バンクを通じて、移住の問い合わせや、移住希望者への移住支援など、迅速に対応して対応いたします。

3. 移住者サポート
移住者バンクを拠点として、移住したい方からアポイントメントの申し込みや、移住希望者への移住支援など、迅速に対応して対応いたします。

4. 文化体験講座
「移住者バンク」を拠点として、移住の問い合わせや、移住希望者への移住支援など、迅速に対応して対応いたします。

5. 移住体験ツアー
移住希望者からアポイントメントの申し込みや、移住希望者への移住支援など、迅速に対応して対応いたします。

6. NPO職員発表

お問い合わせ：おせっかい、おせっかい、おせっかい、おせっかい
Tel.0470-28-0827 受付時間：月～金 9:00～17:00
 NPO法人「おせっかい」(千葉県館山市) 移住者バンク(千葉県館山市)
 館山市中央公民館(2階) 受付時間 **Tel.0470-22-2544**

空の家！我が家に 2

石川 隆夫 氏から
館山市民の皆さんへ

岡田 光史 さん

「空の家」の魅力を伝える「空の家」



空の家！我が家に 1

千葉 隆夫 氏から
館山市民の皆さんへ

岩槻 伸洋 さんご一家

「空の家」の魅力を伝える「空の家」



移住者はこんな人

山口 敦史 さん

「空の家」の魅力を伝える「空の家」



移住者はこんな人

鈴木 光雄 さん

「空の家」の魅力を伝える「空の家」



NPO法人「おせっかい」から、館山市民の皆さんへ、伝えたいことがあります。「空き家バンク」が、いまなぜ必要なのか、

「空の家」の魅力を伝える「空の家」

告知

空き家物件を
探しています。

まちを元気に!

NPO法人 おせっかい
空き家バンク
「たてやま」

AkiyaBank TATEYAMA

ひとが住めば、家がうれしい。
 人がふえれば、まちがうれしい。
 家賃が入れば、財布もうれしい!

希望の空き家バンクがスタートです。
 住む人のいない空き家も、おせっかいが
 お手をつけてくれることになりました。
 ひまっしたら、まちを元気にする
 宝物が眠っているかもしれないから。

5年

おせっかい

移住者支援団体(NPO法人おせっかい:千葉県館山市)



岐阜県「古民家活用」 セミナー

～古民家暮らしの魅力を語る～



<内容>

古民家での生活、古民家改修の取組をご紹介します！地域の受入団体、移住された方、古民家改修に取り組む建築士らが語り合うトークセッション。受け入れ団体2名、移住者1名、建築士1名

■参加自治体■

恵那市・下呂市・白川町

8/29 (土)
 清流の国ぎふ暮らしセミナー



岐阜の 古民家で 暮らそまいか

2015.8.29 (土)

13:00 - 15:00



中野 隆志 氏

岐阜県下呂市在住。古民家改修に取り組む建築士。地元で古民家改修の取組を進め、移住者を受け入れる取り組みを行っている。



大谷 光利 氏

岐阜県恵那市在住。古民家改修に取り組む建築士。地元で古民家改修の取組を進め、移住者を受け入れる取り組みを行っている。



白石 達夫 氏

岐阜県下呂市在住。古民家改修に取り組む建築士。地元で古民家改修の取組を進め、移住者を受け入れる取り組みを行っている。



中野 隆志 氏

岐阜県下呂市在住。古民家改修に取り組む建築士。地元で古民家改修の取組を進め、移住者を受け入れる取り組みを行っている。

講師特別講演
 岐阜県下呂市在住。古民家改修に取り組む建築士。地元で古民家改修の取組を進め、移住者を受け入れる取り組みを行っている。

清流の国ぎふ 恵那・空遊センター

NPO法人ふるさと回帰支援センター
〒507-0006 岐阜県下呂市富田町南2-1-1
富田駅前南館3階

TEL: 050-7766-227 / FAX: 05-4273-4404
E-MAIL: gifu@fu004.jp / URL
問合せ：恵那

岐阜県 恵那の国づくり推進課

TEL: 058-270-6276 / FAX: 058-270-2862
問合せ：恵那

NPO法人WOOD INC
TEL: 0577-30-6076 / FAX: 0577-30-0396
問合せ：恵那

*本セミナーは、岐阜県下呂市・下呂市・白川町が主催するものであり、NPO法人WOOD INCが協賛して行われます。



愛媛県「ゲストハウス」

実践者座談会

～ゲストハウスの魅力を語る～



<内容>

移住の現地視察の際にゲストハウスを使ってみては？という提案。

セミナーにはお試し移住歓迎のゲストハウス3軒のオーナーを読んでゲストハウスを使った移住体験のメリットや地域の歩き方などを紹介。

21世紀の地域社会 2017 vol.2
 \ WELCOME to Our House /



GUEST HOUSE

でお試し移住のススメ

2017年 **5月28日**(日) 16:30～
 ふるさと回帰支援センター セミナースペースA
 (JR有楽町駅前 東京交通会館8階)

移住を決める前に試してみることができない「お試し移住」をきっかけに現地に行くのであり、地元のホステルやゲストハウスのオーナーと知り合い、地域をよく知る方にアドバイスをもらうことで、今まではゲストハウスを泊らせてみてはいいかな？という。今回のセミナーには、実際に移住体験のゲストハウスが主催者として参加を促して、お話し相手の顔面を一緒に考えましょう。

 (参加ゲストハウス)

シクラム(今治市)

しまもがらハウス(大洲市)

宮本堂(宇和島市)



 (スケジュール)

16:15～ 受付開始

16:30～ セミナー開始

18:40～ ゲストハウス懇話会
 (10分ずつゲストハウスや地域のことをご説明します)

17:10～ ティータイム
 (ゲストハウスで試した移住体験をみんなの前で話しかけて、質問の機会も！)

18:00～ 交流会
 (実際にゲストハウスに泊るような気分で、みんなでお話ししましょう！)

19:30 終了予定

※ゲストハウスの開業、移住先は変更する場合がございます。

※お問い合わせ先：ふるさと回帰支援センター 事務局 03-5561-0000(受付時間)



栃木県

片道1000円で見つける ローカルの暮らし ～とちぎに人気の移住先、集めました～



<内容>

片道1,000円ほどで行ける市町の紹介。
都内から近距離・かつ私鉄を使って安く
来れる部分を全面的にPR。

体力的・金銭的にもそれほど負担なく、移
住前にしっかり現地を見ることを紹介。

<参加自治体>

足利市・栃木市・日光市

第162回とちぎ暮らしセミナー vol.1

片道 1,000 円で見つける ローカルの暮らし

～とちぎの人気の移住先、集めました～

2017

5.28(日)16:30～18:30

@NPO法人ふるさと回帰支援センター



何度も現地に足を運んで、移住先を決めたい。

地域とのつながりを作りたい。

気軽に東京と行き来できるローカル、集めました。



トークゲスト (先輩移住者)

足利市、栃木市、日光市よりゲストが登場！
ライフスタイルの参考になる方ばかりです！



菊地 加代子さん(足利市移住3年目)
神奈川県出身。都内に拠点を置く
足利市出身の映画監督と結婚後、1ターン。
平日は佐野市の会社勤務、
週末は都内の自宅という二拠点生活。



鈴木 進悟さん(栃木市移住2年目)
奈良県出身。東京の会社に勤めながら
妻の実家のある栃木市へ1ターン。
現在も栃木⇄東京の二拠点生活を送る。



福田 大介さん(日光市移住7年目)
日光市出身。留学・海外勤務を経て、
家業を継ぐため2011年にUターン。
新事業を立ち上げるなど、幅広く活動中。



主催：栃木県
共催：認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター



番外事例～新潟県「にいがたライフスタイルカフェ」

- ・ 移住希望の前段階(潜在層)に対するアプローチ
→ “地方での暮らし”を考える機会の提供
- ・ 明確なテーマ設定と多彩なゲスト






『住む』から『暮らす』へ 受動的か主体的か





そこで暮らす人の働き方 = 生き方を紹介 (宮崎県椎葉村)

働き方 = 暮らし方 = 生き方



祖父、父の代で増やした牛を大切に育てている椎葉巧さん。母牛に子牛を産ませ、その子牛を育てて売りに出す製練農家です。ここで生まれた牛はその養育地のブランド牛になることもあります。何年も牛舎は静かに見守り続け、今日採卵にも産卵予定の母牛がのんびりと飼育を待っています。

製練農家 椎葉 巧さん



アルファニアムという愛嬌のない花を育てるのは椎葉瑞穂さん。「花が好きで好きで、それでお父さん(の主人)に頼んで、ハウスを借りてもらったの。止まるまで調剤の形跡の跡でもするように思う。昔には売が数センチも植える場所、実ののちのように種く美しい花が育てられているとは思っていませんでした。

花屋 椎葉 瑞穂さん



小幡地区で農業実践を学ぶお国さん夫妻、リノベーションされた古民家と丁寧に手入れされた庭、パワが絶えず小幡、草履、古物があるお国さん、結まられた...全てが静かで静かなお国さん夫妻に溢れています。誰もが憧れる暮らし方がここにありです。

農業実践(研修) お国さんご夫妻



標高1,040mのピエールハウス産地、25歳の園中さんは宮崎市から専修農業に学び直し、専攻の夜間専攻生としての農業に取り組んでいます。いちご一粒一粒と、そして結果の大自然と一人向き合う日々が続く。

いちご農家 園中 遼平さん(研修生)



最近の移住相談会・セミナーのトレンド

宮崎県 綾町の暮らしと仕事

「有閑農業で有名な綾町。ここにしかない暮らしと仕事について話をしませんか？ ゆったりと時間の流れる綾町で、ていねいな暮らしを！」

ご来場の方、抽選で1組に宮崎マンゴーをプレゼント！

(セミナー内容)

- 綾町の一年・暮らし全般
- 手作り工芸開業支援
- ご来場の場に抽選で宮崎マンゴープレゼント

7月22日(土) 12:30~15:30

有楽町・東京交通会館8階
NPOふるさと回帰支援センター
セミナースペース

宮崎県プレゼントおめでとう！

手作り工芸開業補助金

町民体育大会

小学生の収穫祭

【ゲストスピーカー】
草木染め作家
オヤシロ 37歳の
野矢 麗沢 美さん
平成23年9月に大分県から綾町に移住。夫、子供3人の5人家族。「おうち堂」を営み、ナチュラルな洋服の制作・販売を手掛ける。

【問い合わせ先】
宮崎ひなた暮らしUJターンセンター 東京支部
TEL: 03-6273-4200 E-mail: info-tokyo@miyazaki-hinatagurashi.jp
主催: 宮崎県 共催: NPOふるさと回帰支援センター

第3回おおいな暮らし塾in東京 おおいなの仕事とくらし

with 「わたしのマチオモイ帖〜大分県」展

2017年 7月22日(土) 13:30-18:00 (13:00開場・受付)

参加・入場無料 ※お申込みは裏面へ

研修会講演展示: my home town わたしのマチオモイ帖〜大分県〜

わたしのマチオモイ帖

大分県に関する「マチオモイ帖」を展示！
マチオモイ帖は日本全国のクリエイターが、ふるさとを、学生時代を過ごした町や、今暮らす町など自分にとって大切な町を小冊子・挿絵・ポストカードにして紹介するものです。今回は、全国のマチオモイ帖から大分県に関する24作品を展示します。

<会場>
東京交通会館3階グリーンルーム
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10-1
JR山手線 有楽町駅(京橋口)徒歩1分
地下鉄有楽町線 有楽町駅、銀座1丁駅 徒歩1分

キッズスペースあります

主催: 大分県、共催: NPOふるさと回帰支援センター (東京オフィス) 2017年7月22日(土) 13:30~18:00
協力: グリーンルーム・アート・ワークショップ・大分県、JICA大分県、バドミントン部、大分県民会館

おおいな暮らし塾in東京



最近の移住相談会・セミナーのトレンド

東京オフィス 2017 第 341 回 ふるさと暮らしセミナー 2017.7.14 (金)

たてやま暮らし 家計簿公開セミナー

千葉県館山市

平成 29 年 7 月 14 日 (金) 18:30~20:30

会場 ふるさと回帰支援センター
〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-10-1
東京交通会館 6F セミナースペース B
定員 30 名程度 (事前予約制・先着順)

当日のスケジュール

- 【第 1 部】 18:30~19:00 NPO おせっ会による移住セミナー
移住者の様子を紹介しながら、館山への移住計画についてレクチャー。
- 【第 2 部】 19:00~20:00 3 組の移住者の家計簿大公開 (1 組 20 分ずつ)
それぞれパターン異なる 3 組の移住者の「お金」のはなし。
- 【第 3 部】 20:00~20:30 個別相談 (おせっ会・移住者への質問コーナー)
おせっ会、移住者、行政の担当者へ直接話を聞くチャンス。

主催/館山市・特定非営利活動法人おせっ会 共催/NPO 法人ふるさと回帰支援センター
お問い合わせ/館山市商工観光課 0470-22-3136

2017 年
7 月 8 日 (土)
11:00~19:00
東京交通会館 12 階
ダイヤモンドホール

入場無料
入退場自由

和歌山×ナリワイ×暮らし展

～つながるひろがる“わわわ”の日～

和歌山のナリワイ・暮らしに触れる、最大規模の移住イベントを東京・有楽町で開催します。
“わわわ”=“和話輪”のとおりに、和歌山の人と直接話してつながって、
和歌山の魅力を広げましょう！どなたでもお気軽にご参加ください。

年に1度

「WAKAYAMA LIFE」を感じる最大規模の移住イベント!

○わかやまリアルトークステージ 先陣移住者などゲスト多数! 実際のところ和歌山での暮らしってどうなの?	○わかやまライフ相談ブース 500以上の移住先情報や企業が揃った和歌山県ならではの移住先情報や、具体的な相談も可能!	○わかやまに恋しよう! わかやまに恋しよう! 手が届かないワーケーション/マイナーのイブニング/温泉宿に泊まる体験ツアー
○移住悩み人ワークショップ 移住の悩みをワークショップで楽しく解決!	○わかやまスタンプラリー ハズしなし! 相談ブースをめぐって、和歌山県内の移住先をもらおう!	○“わわわ”大交流会 和歌山に引っ越したばかりながら和歌山人とつながろう

PLANNING | 主催】和歌山県
【協賛】NPO 法人ふるさと回帰支援センター (協賛機関) ココロサキ 東京オフィス 2017 第 323 回ふさふさ暮らしセミナー / 東京交通会館 12 階ダイヤモンドホール (会場) 東京都千代田区有楽町 2-10-1

BLOG | イベント詳細 随時更新中!
Facebook ページ | わかやま暮らし推進協議会
<https://www.facebook.com/wakayamalife/>



最近の移住相談会・セミナーのトレンド

南伊豆で、社長になる。

カフェ「ティード」
37歳
創業2年
移住10年

カフェ「ティード」
34歳
創業2年
1ヶ月前移住12年目

鳥部 マチーゴースタラ
代表
31歳
創業11年
移住30年

みなみいず 移住起業塾 2017
8/29(水) → 9/28(水)

事前説明会
7/23(日) @東京交通会館 8F ふるさと回帰支援センター
7/26(水) @武蔵野商工会館 4F 市民会議室

※「みなみいず移住起業塾」のみの参加でも構いません。移住起業塾の申込締切りは8月2日(消印有効)

東京オフィス2017 第214回ふるさと暮らしセミナー

田舎で生きる。| 能登でみつける | 仕事の本質 |

~地域の仕事のつくり方~

七尾にゲストハウスができるまで

◎有楽町
7/23
12:00
~14:30
ISHIKAWA

石川県全体の移住・就職の個別相談も開催!

株式会社おやゆりカンパニー 代表取締役社長
太田 雅之さん

「石川県に Uターンしよう!」

ゲスト

【石川県職員と七尾市の職員が相談員!】

【プログラム】
12:00~ 石川県について
12:15~ ウェルハウスができるまで
13:00~ 七尾市での暮らしと起業支援 (七尾市・石川お茶業同業力ネットワーク)
13:30~ 個別相談会

【石川へのアクセス】

有楽町駅徒歩1分
NPO法人ふるさと回帰支援センター
(東京交通会館5階 東京都千代田区有楽町2-10-1)

石川県全体の移住・就職の個別相談も開催します。お電話にご参加下さい。

主催：石川県 共催：NPO法人ふるさと回帰支援センター



最近の移住相談会・セミナーのトレンド



日時 **7/8 (土)**

13:00~15:30(12:30受付開始)

ふるさと回帰支援センター

東京都千代田区有明町2-10-1 東京交通会館8階

【定員】25名

参加無料

【お申込み】

京都移住コンシェルジュの申込フォーム
からお申し込みください。



03-627-9624

【ゲストスピーカー】

- 吉岡 大(おおの) さん
暮らしのソリューション「blueto」経営
- 関 奈央弥(なみや) さん
丹後の豊かな食を世界中に届ける「丹後・9L」代表
※ゲストスピーカーについては、要綱をご覧ください。



主催：東京都、京の田舎暮らし・ふるさとセンター、京都府丹後広域振興局

共催：NPOふるさと回帰支援センター 企画協力：京都移住コンシェルジュ(京都移住計画)



- VOL.1 テーマ -

「ローカルビジネス」～地方で起業し生きていく～

理想のライフスタイルから場所を選ぶ。

にいがたライフスタイルカフェは、単なる移住セミナーではなく、理想のライフスタイルに合わせて暮らしたい地域を考える会です。ゲストも新潟に限定せず、全国各地で理想のライフスタイルを実現している先輩を招いてトークセッションとワークショップを行います。

参加お申し込み。最新情報はLINEでも受け取れます。
にいがたライフスタイルカフェ

7/22 (土) (18:00-20:00)

@ふるさと回帰支援センター

(〒100-0006 東京都千代田区有明町2丁目10-1 東京交通会館8F)

定員：40名 (参加費：無料)

GUEST

水戸部 智 (NPO 法人あいさ)
矢島 樹 (EARY CAFE)
他1名

QR



主催：新潟県、新潟県 NPO 法人ふるさと回帰支援センター
共催：にいがた、にいがたライフスタイルカフェ | info@nigata.jp | 電話：0256-33-9900